

## ご使用の 前に

安全上のご注意	2
製品概要	9
次のものが揃っていますか？	11
使用前の準備	13
① 電池を挿入する	13
AC アダプタ (別売) で使用する場合	15
② 時計を設定し時計機能を有効にする	16
正しく測るための注意事項	18

## 測定方法

血圧を測定する	20
① 椅子に座り腕帯を巻く	20
② メモリーを選択する	24
③ 測定を開始する	25
④ 測定結果を保存する	28
⑤ 電源を切る	28

## 測定記録 の確認

保存されている結果をみる	29
① 測定結果を確認する	29
② 電源を切る	31
保存されている結果を削除する	32

## お客様 サポート

知っておきましょう	34
困ったなと思ったら	38
本品の取り扱いに関して	42
製品仕様	44
補用品	46
技術サポート	47
品質保証書	裏表紙

# 安全上のご注意

ご使用の前に、この [安全上のご注意] をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、本品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

<b>禁忌・禁止</b>	本品の設計限界または不正使用等、責任範囲を超える対象および使用方法。 (誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。)
<b>注意</b>	本品の使用にあたっての一般的な注意事項。 (誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。)

※ 物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

## 禁忌・禁止

### <適用対象 (患者) >

- 1) 乳幼児および小児または意思表示のできない人には使用しないこと。ケガや事故を起こすおそれがあります。

### <併用医療機器> [6 ページ<相互作用>の項参照]

- 1) MRI 検査をおこなう際は本品を検査室に持ち込まないこと。MR 装置への吸着や、火傷等のおそれがあります。
- 2) 高圧酸素患者治療装置に本品を持ち込まないこと。誤動作や破損、爆発のおそれがあります。

### <使用方法>

- 1) 測定結果の自己判断や自己判断による治療はしないこと。必ず医師の指導、指示に従ってください。

- 2) 傷など未治癒の腕に腕帯を巻かないこと。症状を悪化させるおそれがあります。
- 3) 点滴静脈注射や輸血をおこなっている腕に腕帯を巻かないこと。ケガや事故を起こすおそれがあります。
- 4) 可燃性ガスおよび支燃性ガスの近くでは使用しないこと。発火・引火のおそれがあります。
- 5) 耐用期間を超えて使用しないこと。測定精度を保証できません。本品（消耗品を除く）の耐用期間は5年あるいは30,000回です。「自己認証（自社データ）による」
- 6) 不特定多数の人が対象となる医療機関や公共の場所では使用しないこと。事故やトラブルの原因になります。

## 注 意

### 【使用上の注意】

#### <使用注意>

- 1) 次の状態や症状又は過去に処置を受けたことのある方は医師に相談のうえ使用すること。正しく測定できないおそれがあります。
  - ・妊娠中毒症を含む妊婦
  - ・糖尿病
  - ・肝臓病
  - ・動脈硬化
  - ・高血圧症
  - ・不整脈
  - ・乳腺切除した方・血管内挿管
  - ・血管内治療
  - ・動静脈（A-V）シャント
  - ・リンパ節の除去

#### <重要な基本的注意>

- 1) 異常加圧が発生した場合は、[測定／停止] ボタンを押して測定を中止すること。

- 2) 血圧は以下の要因で変動するので注意すること。
  - ・時刻や季節      ・高血圧治療などの薬剤
  - ・飲食（アルコールを含む）      ・喫煙      ・身体活動
  - ・精神的緊張      ・入浴      ・尿意      ・会話
  - ・その他の環境（病院での受診中など）
  - ・測定姿勢（心臓に対する腕帯の高さを含む）
- 3) 本品を水や消毒液等に浸さないこと。
- 4) 腕帯の締め付けにより、一過性の内出血が発生し赤みが残る可能性があるため、痛みを感じた場合には、[測定/停止] ボタンを押して測定を中止すること。
- 5) 救急搬送中の患者の血圧測定に使用しないこと。
- 6) 必要以上の頻度で測定をおこなわないこと。
- 7) 血圧測定の目的以外には使用しないこと。また、上腕以外に腕帯を巻かないこと。故障や事故の原因になります。
- 8) 次のような場所では本品を使用しないこと。誤動作や故障の原因になります。
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・温度差の激しい場所や高温多湿な場所
  - ・ほこりの多い場所
- 9) 落としたり、強い衝撃を与えないこと。誤動作や故障の原因になります。
- 10) 使用前に上腕周囲を測り、測定可能上腕周囲の範囲内であることを確認すること。適用範囲外で使用すると、誤差の原因になります。
- 11) 付属品は指定されたものを使うこと。指定外のものを用いると、誤差や故障の原因になります。

- 12) エアー管が折れ曲がったりねじれたりしていないことを確認すること。圧力がかかったまま腕帯から空気が抜けず、血流障害を起こすおそれがあります。
- 13) 腕帯は測定部位に正しく装着し、測定中は心臓の高さに保つこと。誤った装着や高さのズレは誤差の原因になります。
- 14) コードを引っ張り AC アダプタを抜かないこと。コードが断線し、火災や感電の原因になります。
- 15) 濡れた手で AC アダプタの抜き差しをおこなったり、ピンセットや導電性のあるものでふれたりしないこと。
- 16) 電池交換などで本品の電池または電池端子にふれているときや、AC アダプタを抜き差しする際に AC アダプタのプラグにふれているときは、他の人にふれないこと。
- 17) AC アダプタでの使用中に本品に異常が発生した場合は、コンセントから AC アダプタのプラグを抜き、確実に電源を切ること。家具などの影にあるコンセントに AC アダプタのプラグを差し込むと緊急対処ができない場合があります。
- 18) 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を同時に使わないこと。発熱などにより故障の原因になります。
- 19) 本品の上に重い物をのせたり、エアー管を縛ったりしないこと。故障の原因になります。
- 20) 分解・修理・改造はおこなわないこと。誤動作や故障の原因になります。

<相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)>

[併用禁忌] (併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MRI装置 (磁気共鳴 画像診断 装置)	検査室に本品を持ち込まないこと。 MRI検査をおこなうときは、本品を患者から取り外すこと。	誘導起電力により局所的な発熱で火傷のおそれがある。 また、磁気により本品が吸着されるおそれがある。
高圧酸素 患者治療 装置	装置内に持ち込まないこと。	誤動作や破損及び経時的な劣化をきたすおそれがある。また、爆発の誘因となるおそれがある。

[併用注意] (併用に注意すること)

- 1) 電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器 (ペースメーカー、植込み型除細動器など)  
誤動作のおそれがあります。
- 2) 腕帯を巻いた側の腕や手に装着した医療機器  
腕帯の加圧により医療機器の機能に一時的な影響をおよぼすおそれがあります。
- 3) 電気手術器 (電気メス)  
電気メスの高周波エネルギーにより本品が誤動作する可能性があります。
- 4) 装着形の医用電子機器 (心電計など)  
誤動作のおそれがあります。
- 5) 電磁波を発生する機器 (電子レンジ/電磁調理器など)  
誤動作や故障の原因になります。
- 6) 電波を発生する機器 (携帯電話/PHSなど) は、本品から30cm以上離して使用すること。誤動作や故障の原因になり

ます。

### <不具合・有害事象>

- 1) 不具合  
動作不良、故障、破損、誤計測
- 2) 有害事象  
痛み、アレルギー反応、血行障害

### <妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用>

- 1) 妊婦、産婦が使用する場合は、医師に相談のうえ使用すること。
- 2) 乳幼児および小児または意思表示のできない人には使用しないこと。

### 【保管方法及び有効期間等】

- 1) 次回の使用に支障のないよう清潔に保ち湿気の少ない所に保管すること。  
保管環境 温度：-20～60℃  
相対湿度：10～95% RH（結露なきこと）
- 2) 長期間使用しないときには、電池を取り外すこと。電池の液もれが起こり、本品を傷める原因になります。
- 3) 耐用期間：5年あるいは30,000回（消耗品を除く）  
[自己認証（自社データによる）]
- 4) 本品には電池や小さな部品が含まれているので、小児だけで使用させたり乳幼児やペットの届く所に保管しないこと。ケガや誤飲のおそれがあります。
- 5) 小児の手の届く所に本品を保管したり、エアー管やコードを首に掛けたりしないこと。エアー管やコードによる窒息のおそれがあります。

### 【保守・点検に係る事項】

- 1) 使用後は汚れていたり濡れていないかを確認すること。
- 2) 本品の表面の汚れは、石けん水または消毒液を浸したガーゼ等をよくしぼってから拭き取り、その後、水またはぬるま湯を浸してよくしぼったガーゼ等で石けん水または消毒液を拭き取り、更に乾いた柔らかい布等で水気を拭き取ること。使用可能な消毒液の種類は以下のとおりです。

成分名	主な製品例
エタノール (76.9 ~ 81.4vol%)	消毒用エタノール
クロルヘキシジングルコン酸塩	5% ヒビテン液
ベンザルコニウム塩化物液	オスバン消毒液 10%
第 4 級アンモニウム塩	クリアパワー
次亜塩素酸ナトリウム	サラヤジアクロス

希釈率は使用する消毒液の用法・用量に従ってください。

- 3) 腕帯の汚れは中性洗剤を使い、表面をやさしくたたいて落とすこと。
- 4) エアー管に水が入らないように注意し、しっかり乾かすこと。
- 5) 洗濯機を使用したりこすったりしないこと。
- 6) ベンジン、シンナー、ガソリンなどの溶剤は使用しないこと。本品を傷める原因になります。
- 7) 動かなくなったり、異常がある場合は、直ちに使用を中止すること。お買い上げの販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 8) 本品および使用済みの電池を廃棄する場合は、各自治体の規則に従い適切に処分すること。



# 製品概要

## 作動原理

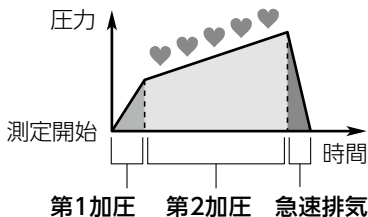
動脈を腕帯で圧迫すると、心拍に合わせて脈動が起こり、腕帯内の圧力が脈動と同調します。この脈動は腕帯の圧迫状況に応じ変化します。オシロメトリック式の血圧計は、腕帯の圧力を徐々に変化させた時に見られる脈動の大きさの変化をもとに最高血圧及び最低血圧を決定します。

## 加圧中測定

腕帯の加圧中に測定することで、無駄な締めつけを無くして測定を快適にしています。

測定が開始されると、腕帯に空気を送り腕帯内の圧力を所定値まで一気に加圧（第1加圧）します。

その後、加圧速度を下げ（第2加圧）、脈波を検出します。検出した脈波から最高血圧を確定すると腕帯から空気を抜き（急速排気）、測定を終了します。



## パーソナルモード

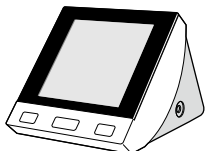
本品は、加圧中測定をより快適に、また、測定時間を短縮するためにパーソナルモードを搭載しています。

過去3回の測定結果から計算して、測定者に適した第1加圧と第2加圧の加圧値を設定します。

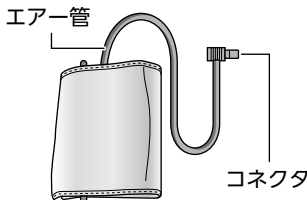
ご自分の測定結果の保存場所を決め、測定前にメモリーを選択してから測定をおこなうことでパーソナルモードを効果的にご利用いただけます。

# 次のものが揃っていますか？

次のものが揃っているかご確認ください。不足しているものがあるときには、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（☎0120-211-164）までご連絡ください。



本体

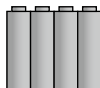


腕帯 (KAFU-H10)

※消耗品



取扱説明書 (本書)

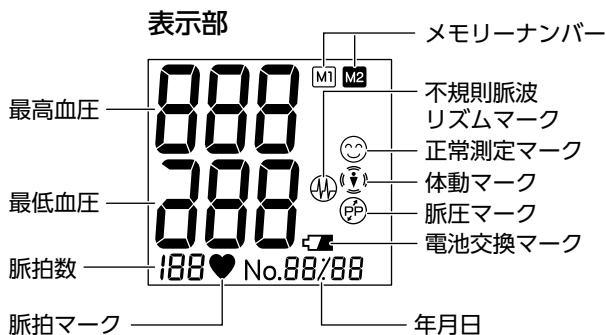
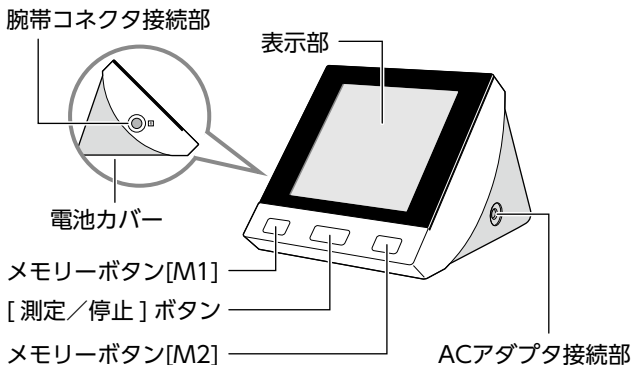


単3形アルカリ乾電池 4本

※お試用ですので寿命が短いことがあります。

腕帯、別売の専用ACアダプタ (UM305-0605) のお買い求めは、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

## 本体各部の名称



# 使用前の準備

電池を挿入し、はじめに血圧計の時計を設定してください。時計の設定をおこなうと時計機能が有効になります。時計機能を有効にしなくても測定をおこなうことはできますが、保存されている測定結果を呼び出したときに、測定日時や測定結果の平均値を確認することはできません。時計機能を有効にし、血圧管理にお役立てください。

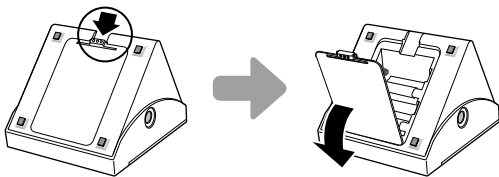


電池を取り外すと時刻が初期値に戻り、時計機能は無効になります。（日付は時計機能が無効になったときの日付のままになります。）電池交換時など電池を取り外した後は、再度設定をおこない時計機能を有効にしてください。本品は専用 AC アダプタ（別売）での使用や、電池と AC アダプタの併用も可能です。AC アダプタを接続して電池交換していただくと、時計機能が有効なまま電池交換をすることができます。AC アダプタの使用方法については 15 ページを参照してください。

## ① 電池を挿入する

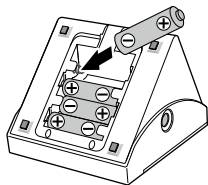
### 1. 血圧計本体底面の電池カバーを開く

血圧計本体底面のツメを押しながら手前に引くようにして電池カバーを外してください。



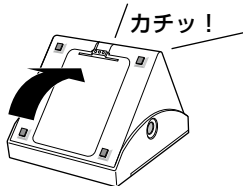
## 2. 極性 (+ -) に注意して、単 3 形アルカリ乾電池を 4 本入れる


電池を入れたり取り外したりするときは、電池のマイナス側をバネに押し付けるようにしてください。



## 3. 電池カバーを閉める

カチッと音がするまでしっかりとカバーを閉めてください。



電池残量が少なくなると電池交換マーク [  ] が点滅します。

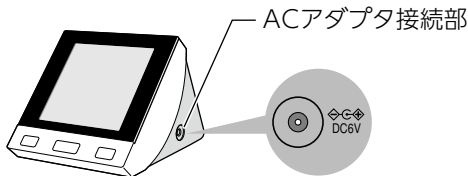
電池交換マークが点滅表示から点灯表示になると血圧測定をおこなうことはできません。

電池交換マークが表示されたら 4 本の電池全てを新しい電池と交換してください。電池は同じ種類のものを使用してください。種類の違う電池や古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。

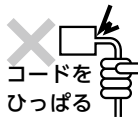
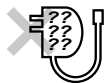


## ACアダプタ(別売)で使用する場合

専用 AC アダプタ (UM305-0605) をご用意ください。  
 血圧計本体右側の AC アダプタ接続部に専用 AC アダプタを奥までしっかりと差し込んでください。



- 専用 AC アダプタ以外は使用しないでください。また、本品の AC アダプタを他の機器に使用しないでください。
- 濡れた手で AC アダプタの抜き差しをおこなったり、ピンセットや導電性のあるものでふれたりしないでください。また、測定中に AC アダプタにふれないでください。
- AC アダプタの抜き差しは AC アダプタ本体、プラグ部を持っておこなってください。



## ② 時計を設定し時計機能を有効にする

### 1. 時計設定画面に切り替える

[測定/停止] ボタンを押してください。



表示部が約 2 秒間全表示します。

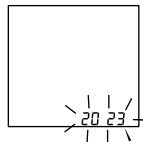
全表示中に [M1] ボタンまたは [M2] ボタンを押してください。



全表示



[西暦] が点滅し時計設定画面に切り替わります。



- 表示される [西暦] は製造年により異なります。
- 時計設定中に 3 分間何も操作がされないと、時計設定は終了になります。

### 2. 日付・時刻を合わせる

はじめに [西暦] を合わせてください。

メモリーボタン [M1] を押すと数値が進み、メモリーボタン [M2] を押すと数値が戻ります。



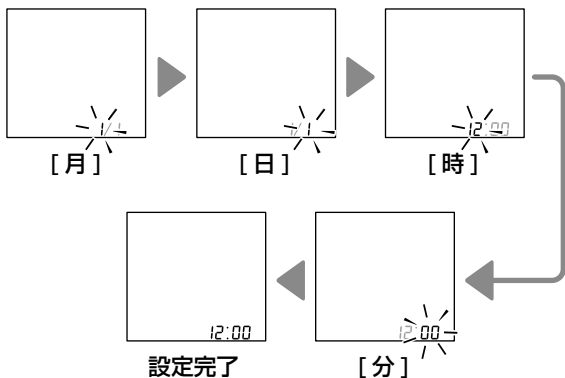
数値を合わせたら [測定/停止] ボタンを押して [西暦] を確定してください。

測定 / 停止



同様に、[月] / [日] / [時] / [分] の順で合わせてください。

[測定/停止] ボタンを押して [分] を確定したら時計設定は完了です。



時計設定後は、電源がオフの状態でも時計が表示されます。

ACアダプタのみで使用していた場合、ACアダプタを抜いてしまうと時計は初期値に戻ってしまい再設定が必要です。

# 正しく測るための注意事項

血圧は、測定条件が変わると値も変わります。毎日同じ時刻に同じ環境で測定するように心がけましょう。

## ● 朝と夜、測定する時刻を決める

起床後と就寝前が1日の内で最も血圧が安定すると言われています。

朝は、起床後1時間以内で食事の前に、夜は、食事の後1時間以上間をあけて測定します。

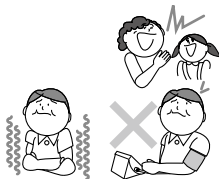
## ● 測定する腕（左腕／右腕）を決める

左右の腕で血圧値が異なることがあります。家庭で測定するときにはいつも決めた腕で測定します。

## ● 同じ環境、静かな場所で測定する

血圧は周囲の音や動きにも影響を受けます。

また、寒いと血圧は高くなります。20℃くらいの室温が血圧測定に適しています。



## ● リラックスして測定する

緊張したり心が動揺していると血圧は高くなります。労作後は深呼吸を数回して5分くらい安静にしてから測定します。



## ● 測定中は静かに、動かない

話をしたり体を動かしたりすると血圧は変化します。また、本品は血圧測定方法にオシロメトリック法を採用しています。

オシロメトリック法はかすかな脈動変化をとらえて血圧を測定します。

このため、測定中に話をしたり腕や体を動かしたりすると正しい測定結果となりません。

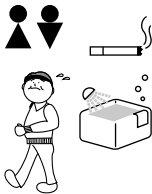


### ポイント

尿意があるときはトイレに行ってから測定する。

喫煙直後に測定しない。

運動直後、入浴直後は測定しない。



# 血圧を測定する

血圧の測定を開始する前に、コネクタを腕帯コネクタ接続部にしっかりと差し込み、腕帯を本体に接続してください。

腕帯コネクタ  
接続部

コネクタ



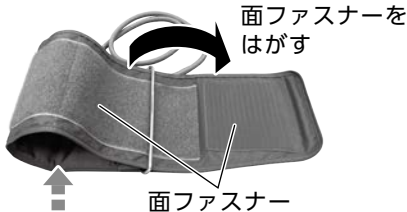
## ① 椅子に座り腕帯を巻く

- 次のような状態で腕帯を巻いた場合には正しく測定できません。



- ・厚手の衣類の上から
- ・巻き上げた衣類の袖が腕を圧迫した状態
- ・血液の循環が妨げられるようなゆったりした衣類の上から

## 1. 腕帯の面ファスナーをはがす



こちらから腕を通します

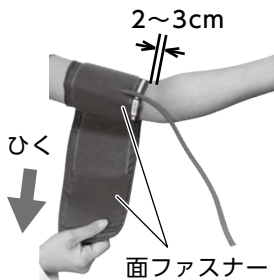
## 2. 腕帯に左腕を通す

エアーストラープが手の方にくるようにしてください。



## 3. 腕帯をとめる

肘関節より2～3cm上に腕帯を合わせ、腕帯の端をひき、折り返して面ファスナーでとめます。腕帯の表面を押さえてしっかりとめてください。



## 4. 位置を合わせる

「ARTERY」の文字を動脈に合わせてください。エアーストラープを腕の中心に合わせることで、「ARTERY」と動脈を合わせることもできます。

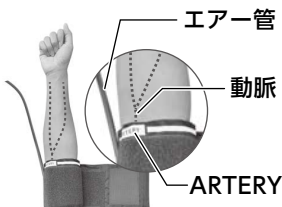




腕帯を左腕に巻けない場合は右腕に巻いてください。ただし測定は毎回決めた方の腕でおこなってください。

右腕に腕帯を巻くときも、「ARTERY」の文字を動脈に合わせてください。

エアータブが肘の内側（横）にくるように腕帯の向きを合わせることで、「ARTERY」と動脈を合わせることもできます。



腕帯が簡単に回ったり上下に動いてしまう場合は、**腕帯が動かない程度のきつさ**で巻き直してください。



きつすぎる



ゆるすぎる

## 5. テーブルの上に腕をのせる

足を組まずに両足を床に置いた状態で椅子に座り、背もたれを使用しリラックスしてください。

腕をテーブルの上に自然にのばし、腕帯が心臓の高さになるようにしてください。

測定位置が心臓よりも高いと測定値は低く、測定位置が心



臓よりも低いと測定値は高くなる傾向があります。

正しく測定するために、腕帯の位置は必ず心臓の高さに合わせてください。

仰向けに横になって測定をおこなうこともできます。  
その場合にも腕帯を心臓の高さに合わせてください。

## ② メモリーを選択する

### メモリーボタンを押す

本品には2つのメモリー（測定結果の保存場所:M1とM2）があり、選択されているメモリーに測定結果が保存されます。



保存したいメモリーのメモリーボタンを押してください。

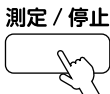
選択中のメモリーボタンのLEDが点灯します。

#### ※測定結果が保存されていない場合

[ - - - ][ - - ]が表示され約2秒後にもとの画面に戻ります。これでメモリーの選択は完了です。

#### ※測定結果が保存されている場合

測定結果が表示されますので、[測定/停止]ボタンを押して電源を切ってください。これでメモリーの選択は完了です。



メモリーの切り替えは、血圧測定終了時の測定結果表示中でもおこなうことができます。



### ③ 測定を開始する

#### [測定／停止] ボタンを押す

表示部に電池交換マーク以外の全てのマークや文字が表示され、自動測定を開始します。

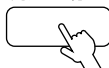
選択中のメモリーボタンのLEDが点灯します。

途中で測定をやめたい場合は、  
[測定／停止] ボタンを押してください。

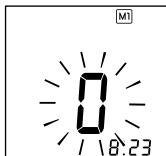
腕帯の圧力を排気して電源が切れます。

加圧が始まります。

測定／停止



全表示

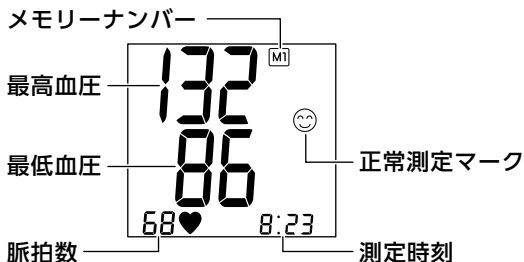


加圧がゆっくりになります。

脈波が検出されると脈拍マーク  
[♥]が点滅します。



測定が終了すると、腕帯の圧力を排気して結果が表示されます。



直近3回の測定結果をもとにパーソナルモードで加圧を調整しているため、自分より血圧の高い人が測定した後、測定をおこなうと、測定がやり直される場合があります。故障ではありませんのでそのまま測定してください。

## 表示の説明

### ♥ 脈拍マーク

脈波を検出すると点滅します。

### ☺ 正常測定マーク

正しい状態で測定がおこなわれたことをお知らせします。

### Ⓜ 体動マーク

測定結果が測定中の体の動きに影響を受けている可能性がある場合に表示します。

測定中は話をしたり腕や体を動かさないようにして測定してください。

### Ⓜ 不規則脈波リズムマーク

測定中に検出した脈波の間隔が一定でなかった場合に表示します。

頻繁に表示される場合、ご自分では判断せずに必ず医師に相談してください。

### PP 脈圧マーク

脈圧（最高血圧値と最低血圧値の差の値）が65以上の場合に表示します。

脈圧については、37 ページを参照してください。

### Err エラー表示

エラーが表示された場合は、38 ページを参照してください。

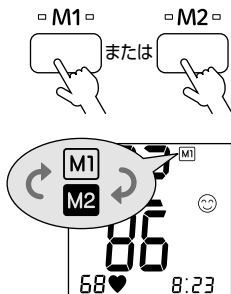
## ④ 測定結果を保存する

本品には2つのメモリー（M1とM2）があります。メモリーにはそれぞれ60回分の測定結果を保存できます。

メモリーボタンを押すとメモリーナンバーが切り替わります。

測定結果は電源を切るときに選択しているメモリーに保存されます。測定後はどちらのメモリーが選択されているかご確認ください。

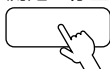
※ [ Err ] 結果は保存されません。



## ⑤ 電源を切る

[測定/停止] ボタンを押すと測定結果が保存され電源が切れます。

測定 / 停止



電源を切り忘れても、約3分経つと自動的に電源が切れ測定結果が保存されます。



電源を切ると時計が表示されますが、時計機能を有効にしていない場合には何も表示されません。

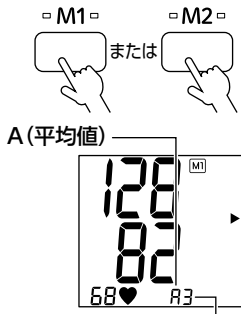
# 保存されている結果をみる

## ① 測定結果を確認する

### 1. 確認したいメモリーを選択する。

本品には2つのメモリー(M1とM2)があります。メモリーにはそれぞれ60回分の測定結果を保存できます。

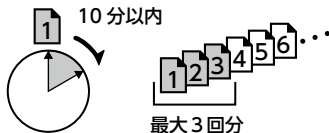
メモリーボタンM1またはM2を押して、確認したいメモリーを選択してください。選択中のメモリーボタンのLEDが点灯し保存されている結果の平均値が表示されます。



最後の測定から10分以内  
にある測定結果の数

### 平均値

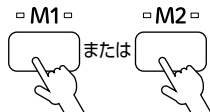
平均値は、最後の測定から10分以内の測定結果(最大3回分)の平均を表示します。



- 時計機能を有効にしないと平均値は表示されません。
- 測定時に時計機能が有効にされていなかった場合も、平均値は表示されません。
- 10分以内にある3回の測定結果の平均を見ることで、より正確な血圧を知ることができます。

## 2. メモリーに保存されている結果を表示させる。

選択しているメモリーナンバーと同じメモリーボタンを押すと、選択中のメモリーに保存されている1番新しい結果が表示されます。



表示部右下に結果番号、測定月日、測定時刻が切り替わり表示されます。



- 時計設定がオフの場合は、結果番号のみ表示されません。表示は切り替わりません。
- 測定時に時計機能が有効にされていなかったときには、測定月日、測定時刻の表示が[ --/-- ] [ --:-- ]となります。

同じメモリーボタンを押す毎に、結果がさかのぼって表示されます。

[No.1] が最も新しい結果をあらわし、数字が大きいほど過去の結果をあらわします。

## ② 電源を切る

[測定/停止] ボタンを押すと電源が切れます。

測定 / 停止



電源を切り忘れても、約3分経つと自動的に電源が切れます。



電源を切ると時計が表示されますが、時計機能を有効にしていない場合には何も表示されません。

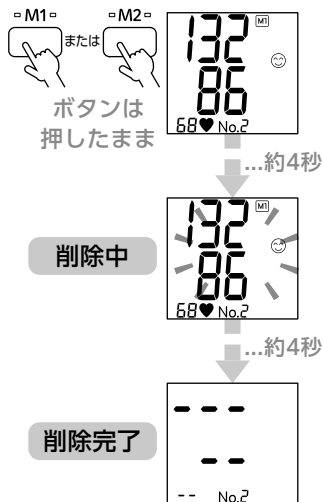
# 保存されている結果を削除する

## 1. 削除したい測定結果を表示させる。

30 ページの [2. メモリーに保存されている結果を表示させる。] を参照して、削除したい測定結果を表示させてください。

## 2. 選択しているメモリーと同じメモリーボタンを長押しする。

メモリー削除が完了し表示が [ - - - ] [ - - ] になるまで、ボタンを押し続けて指を離さないでください。



削除完了まで約 8 秒かかります。

※途中で指を離すとメモリーは削除されません。



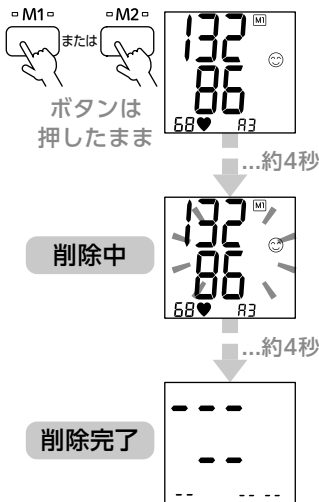
## ● 全ての測定結果を削除する場合

### 1. 削除したいメモリーの平均値を表示させる。

29 ページの [1. 確認したいメモリーを選択する。] を参照して、削除したいメモリーの平均値 ([A]) のついた結果) を表示させてください。

### 2. 選択しているメモリーと同じメモリーボタンを長押しする。

メモリー削除が完了し表示が [ - - - ] [ - - - ] になるまで、ボタンを押し続けて指を離さないでください。



削除完了まで約 8 秒かかります。

※途中で指を離すとメモリーは削除されません。

# 知っておきましょう

## ● 血圧とは

血管内を流れる血液が血管の内壁におよぼす圧力のことをいいます。

### 最高血圧（収縮期血圧）

心臓が血液を送り出すために、心臓の筋肉を収縮させたときの圧力



### 最低血圧（拡張期血圧）

心臓の筋肉が最も広がった時の圧力



## ● 血圧は常に変化しています

血圧は心身のいろいろな条件で変化し、いつも一定のものではありません。

以下の要因で血圧は変動します。

- ・時刻や季節
- ・高血圧治療などの薬剤
- ・飲食（アルコールを含む）
- ・喫煙
- ・身体活動
- ・精神的緊張
- ・入浴
- ・尿意
- ・会話
- ・その他の環境（病院での受診中など）
- ・測定姿勢（心臓に対する腕帯の高さを含む）

安静状態での血圧値を正確につかむためには、1～2分の休憩をいれながら複数回測定することをお勧めします。

## ● 高血圧とは

日本高血圧学会では血圧を下の表のように分類しています。しかし、血圧値は人種、地域、性別、年齢によってかなりの差がみられ、人により目標値も異なります。測定結果はご自分で判断せずに必ず医師の指導を受けてください。

分類	診察室血圧			家庭内血圧		
	収縮期血圧 (最高血圧)	かつ	拡張期血圧 (最低血圧)	収縮期血圧 (最高血圧)	かつ	拡張期血圧 (最低血圧)
正常血圧	< 120	かつ	< 80	< 115	かつ	< 75
正常高値血圧	120～129	かつ	< 80	115～124	かつ	< 75
高値血圧	130～139	かつ/または	80～89	125～134	かつ/または	75～84
I度高血圧	140～159	かつ/または	90～99	135～144	かつ/または	85～89
II度高血圧	160～179	かつ/または	100～109	145～159	かつ/または	90～99
III度高血圧	≥ 180	かつ/または	≥ 110	≥ 160	かつ/または	≥ 100
(孤立性) 収縮期高血圧	≥ 140	かつ	< 90	≥ 135	かつ	< 85

日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン 2019」

## ● 日本人の血圧状況

高齢になるほど、高血圧の割合が多くなる傾向がみられます。

年齢(歳) 割合(%)	20~29		30~39		40~49		50~59		60~69		70以上	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
至適血圧	69.6	84.9	56.3	83.5	30.1	63.8	23.9	39.3	13.5	20.6	12.8	15.3
正常血圧	10.7	13.2	31.3	11.6	22.0	16.7	20.9	23.9	21.4	27.6	22.9	22.3
正常高値血圧	12.5	1.9	6.3	1.7	17.1	10.4	16.4	17.1	25.9	22.0	27.8	19.5
高血圧	7.2	0	6.1	3.2	30.8	9.1	38.8	19.7	39.2	29.8	36.5	42.9

年齢別血圧の状況（厚生労働省 令和元年国民健康・栄養調査報告による）

## ● 脈拍数について

脈拍数は、健康状態を知るうえで非常に大切な値です。

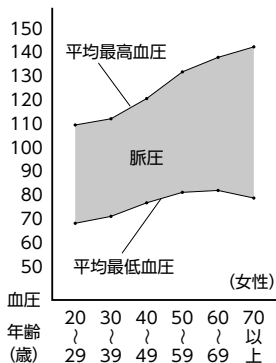
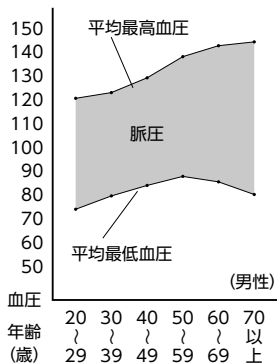
一般に成人の脈拍数は、椅子に掛けた安静状態で60～80拍／分が正常値とされていますが、疲労が蓄積されていたり、体調が悪いときには、10～20拍／分多くなることがあります。

自分の安静脈拍数を知り、その日の脈拍数と比較することで、健康状態の変化を見分けるための目安となります。

## ● 脈圧とは




脈圧とは最高血圧値と最低血圧値の差の値で、動脈硬化とも深く関係があるといわれ、循環器系危険因子のひとつとして広く研究されています。

脈圧は一般的には 45mmHg 前後が目安とされていますが、年齢とともに大きくなる傾向にあります。おかしいと感じた方は、ご自分で判断せず必ず医師の指導を受けてください。



年齢と血圧の平均値 (厚生労働省 令和元年国民健康・栄養調査報告による)

# 困ったなと思ったら

こんなとき	原因
血圧が異常に高く又は低く表示される。	腕帯を心臓の高さに合わせて測定していない。
	腕帯が正しく巻かれていない。
	測定中に動いたり話をしたりした。
測定値がいつも異なる。	心身状態や測定状態が血圧に影響を与えている。
病院での測定と値が異なる。	病院での緊張感、ご家庭でのリラックス感などの精神状態が血圧に影響を与えている。
測定がやり直された。	自分より血圧の高い人が前回測定した。
 が表示された。	ボタンを押しながら、電池を挿入した。または AC アダプタ（別売）を接続した。
 が表示された。	測定中に動いたり話をしたりした。
	測定結果が測定範囲外だった。
 が表示された。	測定中に手や腕を動かしたり、話をしたため最大加圧まで加圧された。
	エアータブが折れ曲がっている。

## 対 策

測定中は腕帯を心臓の高さに合わせてください。

腕帯の巻き方を確認してください。

測定中は動いたり話をしたりしないでください。

同じ条件のもとで測定してください。

ご家庭で測定した血圧は、記録をつけ、医師の指導や診断をお受けください。

直近 3 回の測定結果をもとにパーソナルモードで加圧を調整しています。故障ではありませんのでそのまま測定してください。


[測定/停止] ボタンを押して、一度電源を切ってください。

測定中は動いたり話をしたりしないでください。

毎回表示される場合は、医師にご相談ください。

測定中は動いたり話をしたりしないでください。

エアータブに折れ曲がりや、潰れがないか確認してください。

こんなとき	原因
 が表示された。	<p>エアーク管が折れ曲がっている。</p> <p>腕帯のコネクタがしっかり接続されていない。</p> <p>腕帯が正しく巻かれていない。</p> <p>測定中に動いたり話をしたりした。</p>
ボタンを押しても何も表示されない。 (測定が開始しない)	<p>電源が供給されていない。</p> <p>電池が消耗している。</p> <p>電池の向きが誤っている。</p> <p>電極（電池接続部）が汚れている。</p>
時計が表示されていない。	時計機能が無効になっている。
測定日時が [ - - / - - ] [ - - : - - ] で表示される。	<p>時計が設定されていない。</p> <p>時計を設定する前におこなった測定結果を表示している。</p>
メモリーの全消去ができない。	時計機能が有効になっていない。



## 対 策

エアーク管に折れ曲がりや、潰れがないか確認してください。

コネクタの接続を確認してください。

腕帯の巻き方を確認してください。

測定中は動いたり話をしたりしないでください。

電池を挿入するか、専用 AC アダプタ（別売）を接続してください。

4 本すべて新しい電池と交換してください。

電池を正しく入れなおしてください。

乾いた布できれいにしてください。

時計を設定し、時計機能を有効にしてください。

時計を設定し、時計機能を有効にしてください。

時計設定の前に測定をおこなったときには測定日時が保存されません。

メモリーの全消去にはメモリーの平均値が必要です。平均値を表示するために、時計を設定してから測定をおこなってください。

以上の方法でも、測定が正常にできないときは、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室へご相談ください。

# 本品の取り扱いに関して

血圧計の性能は使用した回数、使用・保管方法、年数に影響を受けて劣化します。本品（消耗品を除く）の耐用期間は5年あるいは30,000回です。「自己認証（自社データ）による」

## ● 本品のお手入れ

使用後は汚れなどがいないか確認してください。血圧計本体の表面の汚れは、石けん水または消毒液を浸したガーゼ等をよくしぼってから拭き取り、その後、水またはぬるま湯を浸してよくしぼったガーゼ等で石けん水または消毒液を拭き取り、更に乾いた柔らかい布等で水気を拭き取ってください。

使用可能な消毒液の種類は以下のとおりです。

成分名	主な製品例
エタノール（76.9～81.4vol%）	消毒用エタノール
クロルヘキシジングルコン酸塩	5%ヒビテン液
ベンザルコニウム塩化物液	オスバン消毒液 10%
第4級アンモニウム塩	クリアパワー
次亜塩素酸ナトリウム	サラヤジアクロス

希釈率は使用する消毒液の用法・用量に従ってください。

腕帯の汚れは中性洗剤を使い、表面をやさしくたたくようにしてとります。エアータブに水が入らないように注意し、しっかり乾かしてください。洗濯機を使用したりこすったりしないでください。

ベンジン、シンナー、ガソリンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。本品を傷める原因になります。

## ● 本品の保管

次のような場所に保管、または長時間放置しないでください。故障、本品の劣化の原因になります。

- 直射日光のあたる場所
- 温度差の激しい場所や高温多湿な場所
- ほこりの多い場所
- 防虫剤の入ったタンス等

本品を長期間使用しないときには、電池を取り外しておいてください。電池を入れたままにすると電池の液もれが起こり本品を傷める原因になります。

## ● 本品の取り扱い

ACアダプタや電池の取り外しは、必ず血圧計の電源を切ってからおこなってください。故障の原因になります。

腕帯を血圧計から取り外すときには、コネクタを持っておこなってください。

本品の上に重いものをのせたりエアーク管を折り曲げたりしないでください。

ボタンや表示部を強く押さないでください。また、表示部を下にして置かないでください。本品を傷めたり誤動作の原因になります。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。誤動作や故障の原因になります。




腕帯を腕に巻いていないときは加圧させないでください。故障の原因になります。

本品の分解・修理・改造はしないでください。故障の原因になります。

気温 40℃以上または 10℃以下の環境に本品を保管した場合は、使用環境範囲内の気温に 2 時間以上保管後に測定をおこなってください。誤動作の原因になります。

# 製品仕様

販売名	デジタル血圧計 DS-H10
医療機器認証番号	304AGBZX00096000
測定方法	オシロメトリック法
測定方式	加圧中測定
圧力表示範囲	3 - 300mmHg (腕帯圧力) 目量: 1mmHg
血圧測定範囲	50 - 250mmHg (最高血圧) 40 - 180mmHg (最低血圧)
脈拍測定範囲	40 - 160 拍/分
最大圧力	300mmHg
環境条件による圧力表示誤差	150mmHg を超えない場合は $\pm 3$ mmHg 以下、 150mmHg を超える場合は測定値の 2% 以下
臨床性能試験による血圧測定の誤差 ※1	聴診に対する 平均誤差 $\pm 5$ mmHg 以内 標準偏差 8mmHg 以内
脈拍測定精度	$\pm 5\%$ 以内
停止操作	停止操作スイッチを切った後 30 秒以内に 15mmHg まで減圧
血圧測定の再現性	血圧判定の再現性は 3.0mmHg (0.4kPa) 以下
加圧	自動 (エアポンプ)
排気	自動急速排気
電源	専用 AC アダプタまたは単 3 形アルカリ乾電池 4 本
電氣的定格	専用 AC アダプタ使用時
	アダプタ定格: AC100-240V 50/60Hz 0.16-0.12A
	本体定格: DC6V 0.5A
	単 3 形アルカリ乾電池 4 本使用時 DC6V/4W
メモリー	2 つのメモリーにそれぞれ 60 回分の測定結果とその平均値

使用環境	温度：10～40℃ 相対湿度：15～85% RH（結露なきこと） 気圧：700～1060hPa
輸送・保管環境	温度：-20～60℃ 相対湿度：10～95% RH（結露なきこと）
測定可能上腕周囲	約 22 – 32cm
本体寸法	約縦 112.9 × 横 110 × 高さ 89.8mm
本体質量	約 310g（乾電池を除く）
電撃保護	内部電源機器およびクラス II 機器 <input type="checkbox"/> ：クラス II 機器 <input checked="" type="checkbox"/> ：BF 形装着部
外来固形物及び水の有害な浸入に対する保護の程度による分類	IP20 (指の侵入に対する保護。水の浸入に対する保護は無し。)
空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスのある中で使用の安全の程度による分類	空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガス中での使用に適しない機器
作動（運転）モードによる分類	連続作動（運転）機器
	付属文書をお読みください
	水濡れ厳禁
	機器固有識別子 ※ 2

※ 1 試験方法は、ISO 81060-2:2013 に基づく。

※ 2 医療機器を識別するために機器本体、ラベル、パッケージに表示されるコード

お断りなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

# 補用品

製品性能を維持するために、付属品は指定されたものをお使いください。

補用品のお買い求めは、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（☎0120-211-164）までご連絡ください。

ご注文の際は、型式もあわせてお申し付けください。

品名	型式	数量	備考
腕帯	KAFU-H10	1 個	測定可能上腕周囲 約 22 ~ 32cm
AC アダプタ	UM305-0605	1 個	

# 技術サポート

本品は、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMD（電磁妨害）規格、IEC60601-1-2:2014 に適合している装置です。

医用電気機器は、電磁妨害に関する特別な注意が必要であり、以下の情報に従って使用される必要があります。

- 本品は、高周波手術機器や MRI 装置（磁気共鳴画像装置）の近傍など、電磁妨害の強さが高い環境での使用を意図していません。
- 本品を、他の機器に隣接させて、又は積み重ねて使用しないでください。不適切な動作の原因になります。
- 本品の製造者によって規定されているか、又は提供されるもの以外の付属品を使用すると、本品の電磁エミッションが増加するか、又は電磁イミュニティが減少し、不適切な動作の原因になる可能性があります。
- 本品の性能の低下の原因になる可能性があるため、携帯型の RF 通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）は、本品と共に使用されるケーブルを含む本品のどの様な部分からも 30cm 以上離して使用してください。

IEC60601-1-2 の詳細については、弊社のホームページのお問い合わせフォームまたは販売店にお問い合わせください。

## 保証規定

有効保証期間はご購入後1年間です。

取扱説明書に従った正常なご使用状態で、万一故障した場合には、無料で修理をいたします。

保証期間内に無料修理を受けられるときは、商品に本保証書を添えて、ご購入の販売店または弊社までご連絡ください。修理品を弊社あてに直接送付される際の送料は、お客様ご自身でご負担ください。

本保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

1. 誤った使用や、不注意による故障または損傷。
2. 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
3. 不当な修理や改造による故障または損傷。
4. 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の使用電源およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
5. 一般家庭以外（病院や施設など）でのご使用による故障または損傷。
6. 本保証書の提示がない場合。
7. 本保証書に販売店、ご購入日などの記載の不備がある場合、あるいは内容を書き替えられた場合。
8. ご使用後の外装面の傷、破損、および外装部品、消耗部品の交換。

## 品質保証書

このたびは、本品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

本品は、高度な技術と徹底した生産管理そして厳重な品質検査を経てつくられた製品ですが、通常のご利用において万一不具合が発生したときは、保証規定により修理および調整をいたします。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

*This warranty is valid only in Japan.*

型 式 : DS-H10J

お名前 :

TEL :

ご住所 :

販売店名 販売店にて記入捺印していただくか、販売店で発行されたご購入上げが証明できるレシートなどを貼付けしてください。



ご購入上げ年月日                      年                      月                      日

## 日本精密測器株式会社

本 社 ・ 工 場 〒 377-0293 群馬県渋川市中郷 2508-13 ☎ 0279-20-2311 (代)

お客様相談室 ☎ 0120-211-164 (9:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00 土・日・祝祭日を除く)

ホームページ <https://www.nissei-kk.co.jp/>